

□議員名：山田伸幸

1 デマンド交通を全市に

論点	厚狭地区で運行されているデマンド交通の評価はどうか。
回答	月水金曜日の週3日運行で1日当たりの乗車が16.8人で70代、80代の利用が多い。利用としては買物や通院が多く、アンケートでは好評を頂いている。交通不便地域においては有効な交通手段である。

論点	市街地を走る路線バスは利用が少なく維持するために、1億3,800万円の補助金が必要。以前は国から80%の補助があったが、今は64%に減らされ市の負担が大きくなっている。市街地にもデマンド交通の導入を検討すべきではないのか。
回答	デマンド交通は交通不便地域に対して実施しているもので、市街地は不便地域とは言えない。

論点	以前、議会からバス路線を厚狭駅と山口東京理科大学を結ぶ縦の線と周辺に乗り継ぐポイントを設け、デマンド交通を運行する案を提案しているが検討したか。
回答	高泊地区について見直しを行い、デマンド交通を検討している。

2 新型コロナウイルス感染対策について

論点	まん延防止等重点措置（まん防）が解除されたが感染防止対策はどうか。
回答	子どもの感染が広がっており本市だけでなく下関市、宇部市とも連携して防止対策に取り組んでいる。

論点	県がまん延防止対策解除の方針だと聞き、藤田市長に共産党議員団として県知事に対して「まん防」継続を申し入れるように要請したがどうだったか。
回答	「まん防」の扱いについて県知事から電話があった。本市は近隣市と同様に感染が増えていた。3市で同様の対応を望んだが最終的に

	県知事が解除を決断した。
--	--------------

論点	まん防解除前1週間の感染者が205人、解除後は67人となっていて、まん防の効果があったと思われる。しかし、現在に至るまで特に子供の感染が続いている。学校での感染対策は万全か。
回答	市内の学校でも感染が広がり、危機感を持って対応してきた。しかし1月に1学級、2月に2学級の閉鎖を行った。この程度でよく収まっていると考えている。これはひとえに保護者と先生方の頑張りによって得られた成果だと考えている。

3 宇宙監視レーダーへの市の対応は

論点	ロシアによるウクライナ攻撃は軍事施設をまず狙い撃ちにしたことで、市民からは埴生地区が攻撃の対象となることに危機感を抱いている。市長は市民と意見交換をする考えはあるか。
回答	防衛省はSSAレーダー基地の建設工事を進めている。昨年末に防衛省の説明会が開催された。防衛政策は国の専権事項である。意見交換を行う考えはない。防衛省に説明会の開催を求めていく。